

## 第9回補助金検討委員会議事録（議事要旨）

- 1 開催日時 平成16年11月11日（木） 午後7時00分～午後9時00分
- 2 開催場所 浦安市役所第3庁舎第2会議室
- 3 出席者  
（委員）  
小泉 允 囿 委員長  
大川 三 敏 委員、渡邊 襄 一 委員、野崎 実 委員  
藤岡 順 次 委員、館 里 枝 委員、仲澤 泰 委員  
（事務局）  
新宅 秀 樹 財政課長、及川 力 主 査  
渡辺 豊 副主査、文違 一 博 副主査、玉野 広 宗 主任主事
- 4 欠席者  
川口 明 浩 副委員長
- 5 議 題  
（1）平成17年度当初予算について  
（2）その他
- 6 議事の概要  
（1）平成17年度当初予算について  
平成17年度の当初予算の要求にあたって、各予算執行課に対し、補助金チェックシートの作成を依頼し取りまとめた。この結果を基に、130余の補助金チェックシートを7人の委員に割り振り、意見感想等を次回検討委員会にて報告して頂くこととなった。  
なお、事務局において、補助金チェックシートの回答内容を点数化し、次回検討会に資料として提出することになった。  
（2）その他  
次回会議の開催は、11月25日（木）と決定した。
- 7 会議経過  
提出された補助金チェックの概要を確認し、今後の進行などを議論・検討した。  
（1）平成17年度当初予算について  
委 員：130余の補助金に対する各課チェックシートを全て見ていくには時間的に難しい。  
この資料には予算要求額が記入されていない。また、目的、関係者のコメントだけでは、良いとか悪いとかの判断はできない。コメント欄だけを見る限り、事業であり、良い評価がされている。  
委 員：平成17年度予算編成はどのようになっているのか。  
事務局：補助金を含め、11月より各課とのヒアリングが行われている。  
委 員：できるのであれば、ヒアリングに参加してみたい。  
各課の補助金に対する考え方、事業に対する熱意などをきいてみたい。  
委 員：今回、補助金のシートが提出されているので、この結果を点数化してみてもどう

か。点数化によることで一つの順位付けがされ、更に点数による分類をすることで検討対象を絞ることができるのではないかと。

ただし、この結果が良い、悪いということにはならないと思うが。

事務局：今回の自己申告のものでよければ点数化はできると思う。

前回までに使用した公益性などによる分類がされたものと比較はできるようになる。

委員：極端な方法とは思うが一つの手段にはなるものと考える。

委員：市として補助金をつけるときに、運営補助金は別となるが、事業補助金の場合、長期計画や市の姿勢に基づいて、予算化されていると考えるが、担当課としては、この事業の効果について、5年先なりの長期計画をもっていないのではないかと。ある意味で定額補助金のように、長期で支出してしまっていることが問題で、基準などを作らなくてはならない。

委員：浦安市の場合は、団体主体ではなく、行政主体で行っていることも問題であり、行政の意識、団体の意識を変えていかなければ補助金は下がらないと考える。これを下げるとなれば、監査委員なり、外部監査なりがそれぞれの通帳なりをしっかり見ていかないと難しい。

委員：この補助金検討委員会としては、現状の補助金額を減額するというのではなく、今後の補助金に対しての対象事業費などの基準を作成することを目的として、考えていければ良いのではないかと。

減額をということであれば、0ベースからの予算要求とすればできるのでは。ただ、現段階での資料だけでは削減できるものではない。

委員：補助金が開始された時点での時代背景が崩れてきている補助金があるのでは。

委員：自己申告制を用いるとどうしても良結果となる。文書の作成がうまいと事業本来の姿は見えにくくなってしまふ。

委員：今回の補助金検討委員会の設置は過去から3回目の委員会設置であるが、それぞれの委員会で検討されても削減まで至らなかった。

今回の委員会では、少なくとも補助金の範囲、基準を作成し終わらないといけなないと考えている。

報告書では団体名の明記はしないものの、幾つかの事例は出していくべきでは。

委員：すべてについて検証することは出来ないことから、点数化した中で3段階くらいのランク分けをし、下のグループに入ってしまったところを議論検討し、一つのルールを作成し、今回対象とならなかった補助金についても行政側で行っていければ良いのでは。

委員：補助金の範囲、基準ができれば、必然的に補助額は増減ができるのでは。

委員：本来、補助金交付団体も、自己評価をする必要があり、活動目的、計画等を見直すべきである。

次回会議までにチェックシートの集計票の点数化を行い、ランク付けを行うことになった。また、提出された補助金チェックシートを7人の委員に割り振り、疑問点、問題点なりを提出することとなった。